

令和4年度第10回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和4年11月28日（月）午後1時30分～午後4時02分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委 員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委 員 山 田 敦 久 坂 本 英 樹
委 員 多 田 千 鶴 社会教育課長 武 山 鉄 也

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

いよいよ雪が降り、次第に積もってきているが、日向スキー場では職員が2名不足している状況にある。何とか工夫してギリギリのところをやっている。知人の方への声かけなど、人員確保に向けての協力をお願いしたい。

昨日開催されたクイーンズ駅伝には、合宿の里士別推進協議会の鈴木会長、旅館業組合の長谷川会長のほか、スポーツ推進課坂本課長、橋爪主事とともに士別に合宿入りしたチームの応援と合宿招致活動を実施してきた。また、翠月の鈴木社長も日帰りで大会に駆け付け、各チームのエースによる激しいデッドヒートが繰り広げられた3区で一緒に応援に加わった。ライブ配信で解説の増田明美さんや、TV放送解説の高橋尚子さんと野口みずきさんにも挨拶することができた。16年ぶりに大会新記録で優勝した資生堂は創業150周年の節目ということもあり、喜びも一入だった。積水化学、JP日本郵政グループは、とりあえずそれぞれの設定目標をクリアし、ダイハツ、パナソニック、第一生命もシード権を獲得するなど、本市に合宿に来ているチームはいずれも良い走りを見せてくれた。ただ、残念ながら新型コロナウイルスの影響でベストメンバーが揃わなかったチームもあった。仙台市内では飲食店や大会関係のエリアでも消毒や検温が特に徹底されていると感じた。今後とも合宿受入れを拡大させていきたいと感じたところである。

今日は令和5年度予算案などについて審議していただく。全ての内容を精査しきれている状況にはないが、委員の皆さんからのご意見なども予算要求に反映させていきたい。なお、予算編成作業のスケジュールについては、昨年よりも大巾に早まっている。

明後日から市議会第4回定例会が開会され、この後審議する補正予算も上程される。また、一般質問がある場合は真摯に答弁していく。

今年度初めての総合教育会議を12月12日または9日に開催する予定である。

「障がい者の生涯学習支援活動」について、「伴走サークル楽・RUN」が文部科学大臣賞を受賞した。12月6日に社会福祉協議会においてオンライン表彰式が開催される。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第 23 号 「令和 4 年度士別市教育委員会補正予算」について説明を求める。

○三上部長

今回は物価高騰、感染症対策、通常補正のそれぞれで補正予算を取りまとめた。物価高騰に関しては、燃料単価の高騰および、それに伴う電気料値上げにより、教育施設のほとんどで予算が不足するため補正する。感染症対策としては、これまで実施してきた「学校等における感染症対策等支援事業」の補助対象金額が引き上げられたため、全体で 1,750 千円を補正し、各学校に配分する。通常の補正としては、東高校に勤務している業務技師の手当および共済費に不足が生じることによるものである。

○中峰教育長

この件についてはよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第 24 号 「士別市スキーリフト条例施行規則の一部を改正する規則」について説明を求める。

○坂本課長

本規則は日向スキー場とあさひスキー場の両方について定めたものだが、このうち、あさひスキー場については 12 月から毎週月曜日も休業とし、月曜日が祝日の場合は営業するよう規則を改正する。月曜日はあさひアルペン少年団もオフの日としているなど、利用実態も踏まえての休業とする。

○中峰教育長

あさひスキー場もスタッフの確保に苦労している状況であり、休日がないと職員のシフトを組むことが難しい。学校のスキー授業や合宿についても基本的には月曜日以外で調整する。

○山田委員

冬休み中など一般利用者には不便に感じる部分もあると思うが、理解してもらいたい。

○中峰教育長

地域の方には説明し、理解してもらった。

○中峰教育長

議案第 25 号 「令和 4 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載」について説明を求める。

○須藤課長

本調査は「全国学力・学習状況調査」のように実施日を指定されているものではなく、指定期間内に学校の都合に合わせて実施している。調査の結果について昨年同様、公表することとしたい。

○中峰教育長

中学生のシャトルランについてはあまり成績が良くないが、体の動かし方がわからなかったり、要領がつかめないことも原因の一つだと思われる。事前に練習することによって対応できるともいわれている。ボールを使った動きや「投げる」力が低下している印象がある。スポーツ協会で実施しているバルシューレなどをやることで改善できると思う。

これまで同様の取扱いとしてよろしいか。

(全員了承)

○加藤委員

体力調査については、真面目に取り組まない子もいるという話もあるようだ。

○中峰教育長

学力・学習状況調査の結果についても捉え方は様々ある。道北日報のコラムでは、調査が始まった頃は全国・全道の平均より成績が低かったが、現在は平均を上回っていることに触れている一方で、スマホなどを使う時間の増加についても言及している。士別市PTA連合会の研究大会では、消費者教育の講演が行われ、ゲームなどを行っている時は脳の前頭前野の活動が低下していることが紹介されていた。保護者がスマホなどを長時間使用している状況では、子どもに対し使用を控えるよう指導も難しいという現実がある。

○武山課長

便利なツールに頼っていると知識として残っていかない。保護者も一緒に自我を抑えていかなければならない。

○中峰教育長

「脳トレ」で有名になった東北大の川島隆太教授は、短時間でも集中して学習することを勧めている。

○中峰教育長

議案第26号 「令和5年度士別市教育委員会予算（案）」について説明を求める。

○三上部長

お配りしている資料については、令和5年度の政策予算案であり、今後、教育委員会内で内容を確認し、12月中旬には財政課のヒアリングが行われる予定である。主な事業について担当課長から説明する。
(別紙資料を基に説明)

○中峰教育長

奨学金については、貸付限度額を引き上げることとし、今回は給付型奨学金の創設や入学一時金の導入などについては盛り込んでいない。

体育施設整備費のうち、現在4面ある天塩川テニスコートについては、1面を残して他は実質的に利用しないようにする。

○坂本課長

公園を管理している建設水道部が策定した長寿命化計画に基づき1面のみ整備する。また、ソフトボール場はA・B2面あるうちの1面を廃止するなど、引き続き各施設のあり方を検討していく。陸上競技場については、投擲用のネットを更新しなければ公認大会が開催できなくなることもあり、公認のランク変更(3種→4種ライト)について検討中である。財政的な面だけで、全て廃止するというわけではない。

○中峰教育長

天塩川テニスコートについては、協会に加盟していない人たちや初心者利用もあるとのことである。

○坂本課長

朝日地区のテニスコートは協会が整備していたが、利用する団体がなく廃止(=用途変更)する方向で検討中である。

○山田委員

朝日地区のテニスコートの廃止は仕方がないが、周囲にはフェンスもあり、有効活用することを考えてもらいたい。

○中峰教育長

多目的広場のような施設として活用してはどうかと考えている。一部にはドッグランとしての希望も

ありうるものと考えているが、照明設備も整備しており「和が舎」で管理し、合宿者などの利用も考えていきたい。なお、照明については無料としていたが、他の施設との整合性を図るべきでもあり、有料化を考えていきたい。

○山田委員

いい活用法があれば検討してほしい。

○馬場職務代理者

本市はスポーツの振興に力を入れているのに、利用実態などから仕方ないことと理解できるが、施設が廃止されることは残念である。一方、今後の見直しに向けてとはいえオリンピックデーランについては継続できないものか。

○中峰教育長

JOCが実施しているムーブメント事業メニューの一つであり、国内で9か所、道内では唯一本市で開催している。こうしたなか、本年度から開催地に経費の大幅な負担を求められるようになってしまった。市民向け事業としての色合いが最も濃いイベントであり、その意味は大きいと捉えている。

○山田委員

士別ならではのイベントであり、これまで積み上げてきた成果があると思う。オリンピックに対する意識が低いとの判断か。

○中峰教育長

オリンピック・パラリンピックに関わるムーブメント事業として大切と考えているが、行政全般において、他にも多くの事業を抱えているなかで、スクラップ&ビルドの発想も求められている現状もある。

○坂本課長

今後も、北海道オールオリンピアンズとの連携や合宿などで培った個人的つながりを活用することも考えていきたい。

○多田委員

参加料を負担いただくようにしてはどうか。

○坂本課長

それも一つの方法と考えている。

○多田委員

できれば継続実施してもらいたい。

○中峰教育長

例えば、現在、無料で配付しているTシャツについて、1枚あたり500円程度負担してもらおうとして、どのような反応があるか読めないところもある。また、参加者の8割ほどがウォーキングであるなか、特に今年のように様々なスポーツを体験できることにも意味があると考えている。

○加藤委員

何でも無料であるということがいいとはいえない。子どもに対しては無料でもいいが、大人には負担してもらうべきではないか。

○馬場職務代理者

家族連れの場合、子どもは無料にしてはどうか。また、費用圧縮の面では、ゲストのオリンピアンの人數も減らしてはどうか。

○中峰教育長

「オリンピック」という名称も使用したいが、JOC や IOC の権利の関係があり難しい。

○山田委員

奨学金については、現在の貸付額が妥当か否か調べる必要があるのではないかと。今の状況で月額3万円では生活の大変さを補えていないと思う。

○馬場職務代理人

貸付額が上がりすぎると、返済の際に困る可能性もあるのではないかと。

○中峰教育長

それぞれの状況に応じて、貸与額を選択してもらいたい。また、数年前までは、返済が滞る例も多く見られたが、近年はほぼ予定通り返済されている。

○馬場職務代理人

毎月のこともさることながら、受験時と入学当初は、入学金のほかに受験のための交通費、宿泊費なども必要になる。今は受験料も高くなっているのではないかと。

○中峰教育長

一方で、今年度から開始した各種検定料補助の活用状況はどのようになっているか。

○須藤課長

少しずつではあるが申請が出てきている。現在は補助金を保護者の口座に振り込んでいるが、手数料がかかるため別の方法を検討している。

○加藤委員

PayPay やサフオカードなどを活用してはどうか。

○中峰教育長

利用していない人への対応が課題になる。何らかの形で手渡しできれば一番経費がかからなくてよいのだが、適切な方法が見つからない。

○馬場職務代理人

引換券のようなものを郵送しても経費がかかってしまうだろうし、なかなか難しいと思う。

○中峰教育長

ましてや、学校の教職員に現金を扱わせることにはならないところである。

○加藤委員

GIGA スクールに関わって、ICT 端末の通信環境は改善されたのか。

○須藤課長

今年度の対応として、中央地区の学校については引込み回線を分けるなどの対策を講じ、周辺校では多寄と温根別で先行して光回線を導入することとしている。

○加藤委員

中学生の娘は、毎日端末を持ち帰っているが何に使用しているのかよくわからない。また、持ち歩くと破損のリスクが高まるとともに、非常に重いカバンで通学していることにつながっているのではないかと。

○中峰教育長

端末の持ち帰りについての考え方は学校によって異なっている。重いカバン・ランドセルへの対応も含め、「置き勉」についても学校ごとで判断している状況にある。以前から重いカバンやランドセルは問題になっており、できるだけ解消しなければならないものと考えている。

○加藤委員

体が小さいときに、重すぎるものを背負うことは、成長が妨げられる恐れがあり、体に良くない。
学校のバスケットボールのゴールは、当初設置したままなのか。

○須藤課長

そのとおりである。

○中峰教育長

高等学校バス通学補助事業費の予算額が大幅に減っているのはなぜか。

○須藤課長

対象となる生徒数が減少したことによるものである。

○加藤委員

博物館・公会堂展示館整備事業費で屋上防水工事の予算を計上しているが、屋根はかなりひどい状態であると存じている。

○武山課長

入口、倉庫、和室の上部を改修する。

○多田委員

「習い事応援タクシー」は継続してもらいたいという声が多い。

○中峰教育長

今回の取組は公共交通の担当である企画課で試行している。今年度は100万円の予算だったが、どうなっていくかは今後の議論にもよると思われる。拠点校方式の部活動などで、冬場の移動に活用できたらと思う。長年、公共交通として「バス」には補助制度があるが「タクシー」にはないということも事業者側から強くいわれており、継続的な課題でもある。

今回お示しした内容については、部長からも話があったとおり、あくまで現時点での案であり、内容等について変更・修正する可能性があることも理解いただきたい。新年度予算の件については、この後開催する総合教育会議などにおいてもご意見をいただきたい。

3 その他

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

午後4時02分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章